

5. 貴施設における歯科外来診療環境体制の整備による変化についてお伺いします。

Table with 5 columns: 大いにあてはまる, ややあてはまる, どちらともいえない, あまりあてはまらない, 全くあてはまらない. Rows include: ①歯科外来診療環境体制加算によりより安全・安心な歯科医療を行う上でどの程度の効果がみられますか, 1) 歯科医師をはじめとする職員の医療安全に関する意識が高まった, 2) 歯科医師など治療に関わる人が、以前より安心して治療ができるようになった, 3) 医療安全に関する情報（ヒヤリ・ハット事例等）を一元的に集約するようになった, 4) 患者の全身状態をより詳細に把握するようになった, 5) 医療事故等防止のための歯科医師と歯科衛生士等の連携が以前よりスムーズになった, 6) 各部門や他の医療従事者との連携が以前よりスムーズになった, 7) 患者やその家族から安心して歯科治療を受けられると評価された, ②上記①以外に、歯科外来診療環境体制加算による医療安全に関する効果がありましたら、ご自由にお書きください。

Table with 4 columns: 患者属性, 年齢, 性別, 主たる歯科疾患名, 歯科以外の疾患の有無, 何をしている時, 患者がどうなったか, 具体的な対応内容, 緊急時対応後の患者の状況. Includes fields for gender, dental diseases, and emergency response.

Table with 4 columns: 患者属性, 年齢, 性別, 主たる歯科疾患名, 歯科以外の疾患の有無, 何をしている時, 患者がどうなったか, 具体的な対応内容, 緊急時対応後の患者の状況. Includes fields for gender, dental diseases, and emergency response.

6. 平成20年度の1年間（平成20年4月～平成21年3月末）に、貴施設において、誤飲・誤嚥、患者の急変等の発生時に、緊急対応が必要となった症例があれば、症例数とその一部の症例について、以下にご記入下さい。

なお、本取組6.は、歯科医療機関における誤飲・誤嚥、患者の急変等が発生した場合の一般的な状況を把握するためのものであり、この目的以外に本調査結果を使用することはありません。

Table with 2 columns: 症例数, ( ) 件

Table with 4 columns: 患者属性, 年齢, 性別, 主たる歯科疾患名, 歯科以外の疾患の有無, 何をしている時, 患者がどうなったか, 具体的な対応内容, 緊急時対応後の患者の状況. Includes fields for gender, dental diseases, and emergency response.

Table with 4 columns: 患者属性, 年齢, 性別, 主たる歯科疾患名, 歯科以外の疾患の有無, 何をしている時, 患者がどうなったか, 具体的な対応内容, 緊急時対応後の患者の状況. Includes fields for gender, dental diseases, and emergency response.

Table with 4 columns: 患者属性, 年齢, 性別, 主たる歯科疾患名, 歯科以外の疾患の有無, 何をしている時, 患者がどうなったか, 具体的な対応内容, 緊急時対応後の患者の状況. Includes fields for gender, dental diseases, and emergency response.

7. その他、歯科外来診療環境体制加算について、ご意見がございましたら、ご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

(3) 本日受けた治療で麻酔(ますい)をしましたか。 ※〇は1つ

1. 麻酔をした      2. 麻酔をしなかった      3. わからない

問3. 歯科外来診療環境体制加算についておたずねします。

はじめに、下の枠内の「歯科外来診療環境体制加算」についての説明をお読みください。

本日あなたが歯科診療を受けた医療機関は、より「安全・安心」な歯科医療を患者に提供するための環境整備など、さまざまな取組によって、「歯科外来診療環境体制加算」の施設基準を満たしています。この基準を満たしている歯科医療機関では、患者が初めてその医療機関にかかる日に、「300円」を請求できることになっています(患者の自己負担は、例えば3割負担の患者の場合、90円となります)。「歯科外来診療環境体制加算」の施設基準とは、以下のようものです。

- 医療機器の洗浄や滅菌の徹底による十分な感染症対策
- 緊急の処置が必要になったときに備え、他の医療機関との連携体制の確保
- AED(自動体外式除細動器)や酸素吸入装置、救急蘇生セットなどの医療機器を設置し、具合が悪くなった方にその場で処置ができるようになっている体制 / 等

(1) あなたは、本日受診した歯科医療機関が、「歯科外来診療環境体制加算」の施設基準を整備し、より「安全・安心」な歯科医療を提供できることをご存知でしたか。 ※〇は1つ

1. 通い始める前から知っていた      2. 通い始めてから知った      3. 知らなかった

(2) 本日受診した医療機関のように「歯科外来診療環境体制加算」の施設基準を満たしている施設で歯科治療を受けることについて、どのように思いますか。 ※〇は1つ

1. とても安心できる      2. 安心できる      3. あまり安心できない  
4. 全く安心できない      5. よくわからない

(3) 本日受診した医療機関で、「歯科外来診療環境体制加算」の施設基準を満たしていること(\*)がわかる院内掲示(ポスターなど)を見たことがありますか。 ※〇は1つ

1. 見たことがある      2. 気づかなかった      3. 見たことがない

(\*)『「歯科外来診療環境体制加算」の施設基準を満たしていること』については、このページの上にご 있습니다「歯科外来診療環境体制加算」についての説明をご参照ください。

安全・安心な歯科診療の環境整備に関する患者の意識調査 患者票(案)

問1. あなたご自身のことについて、おたずねいたします。

- (1) 性別      1. 男性      2. 女性

- (2) 年齢      (      ) 歳

(3) あなたは、歯科以外の治療を受けていますか。 ※〇は1つ

1. ある      2. ない → 問2へ

→ (3)-1 それはどのような病気ですか。 ※あてはまるものすべてに〇

1. 脳血管系の病気(脳こうそく、脳出血など)
2. 心血管系の病気(高血圧症、狭心症などの心臓病)
3. 代謝系の病気(肝炎、糖尿病など)
4. 呼吸器系の病気(気管支ぜんそく、肺結核など)
5. その他(      )

ここからは、本日訪ねるが受けた歯科診療についておたずねします。

問2. 本日あなたが受けた歯科診療について、おたずねいたします。

(1) 本日、あなたがかったのは、診療所もしくは病院のどちらですか。 ※〇は1つ

1. 診療所(施設名が「～診療所」、「～クリニック」、「～医院」となっています)
2. 病院(施設名が「～病院」となっています。ただし、大学歯学部付属病院や歯科大学病院は除きます。)
3. 大学歯学部付属病院または歯科大学病院

(2) 本日受けた治療内容は何かですか。 ※あてはまるものすべてに〇

1. むし歯治療(歯を削る、歯の神経を取るなど)
2. 歯周病・歯槽のうろ治療(歯石除去・手術など)
3. 失った歯の治療(ブリッジ・入れ歯など)
4. 抜歯
5. 歯科矯正
6. その他(具体的に      )

(4) あなたは、あなたがかった医療機関で「歯科外来診療環境体制加算」の施設基準を満たしている内容の院内掲示(ポスターなど)を見ることで、受ける医療に対する安全・安心感が高まると思いますか。 ※〇は1つ

1. 大いに高まる      2. やや高まる      3. あまり高まらない  
4. 全く高まらない      5. よくわからない

ここからは、本日の診療に関係なく、一般的なお考えについておたずねします。

問4. 本日の診療に関係なく、「安全・安心」な歯科診療に関する意識についておたずねします。

(1) 歯科診療を受ける際に不安になることは何かですか。 ※あてはまるものすべてに〇

1. どのような治療をしているのかわかりにくいこと
2. 治療のときの痛み
3. さまざまな器械の操作音(歯を削るときの音、唾を吸い取る音など)
4. 歯科医師による説明内容や治療期間がわからないこと
5. 1回の治療時間(治療いす上で待たされているときを含む)が長いこと
6. 治療の時にヒヤリとしたりすることがあること(医療事故など)
7. 器具、器械の滅菌・消毒がきちんとしてられているかどうかということ
8. その他(具体的に      )

(2) あなたは、あなたがかる医療機関が下記の①～⑦のような対策を行うことで、歯科診療に対する安心感は高まりますか。

① 歯科医師が、医療安全(緊急時の対応、医療事故、感染症対策等)に関連する研修を修了していること。 ※〇は1つ

1. 大いに高まる      2. やや高まる      3. あまり高まらない  
4. 全く高まらない      5. よくわからない

② 緊急時に施設内で適切な対応ができるよう、AED(自動体外式除細動器)、酸素吸入装置、救急蘇生セットなどの機器を設置していること。 ※〇は1つ

1. 大いに高まる      2. やや高まる      3. あまり高まらない  
4. 全く高まらない      5. よくわからない

③ 歯を削る時に飛び散る粉じんを吸いとるための口の外で用いる吸引装置(口の中で用いる吸引装置ではありません)を設置していること。 ※〇は1つ

1. 大いに高まる      2. やや高まる      3. あまり高まらない  
4. 全く高まらない      5. よくわからない

平成20年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成21年度調査)

後発医薬品の使用状況調査 調査票(案)

※ 以下のラベルに、電話番号、ご回答者のお名前をご記入ください。また、薬局名、所在地をご確認の上、記載内容に間違いおよび不備がございましたら、非番まで確認してください。ご記入頂いた電話番号、お名前、本調査の調査票で使用する目的のみであり、それ以外の目的のために使用することはございません。また、適切に保管・管理致しますので、ご記入の程、よろしくお願ひ申し上げます。

薬局名
薬局の所在地
電話番号
ご回答者名

<ご回答方法>

● あるいはまる番号を○(マル)で囲んでください。\*○は1つだけという質問については、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。
( ) 内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
( ) 内には数値を記入する段間で、該当なしは「0(ゼロ)」を、わからない場合は「-」をご記入ください。

1. 貴薬局の状況(平成21年7月末現在)についてお伺いします。

① 組織形態
② 職員数(常勤換算)
③ 薬剤師
④ 薬剤師
⑤ 後発医薬品調剤体制
⑥ 後発医薬品調剤率

④ 緊急時に適切な対応ができるよう、ほかの病院などと連携していること。\*○は1つ

- 1. 大いに高まる 2. やや高まる 3. あまり高まらない
4. 全く高まらない 5. よくわからない

⑤ 感染症の患者に対する診療の仕組み(例えば、感染症の患者に対応できる歯科診療台を設けるなど)を確保していること。\*○は1つ

- 1. 大いに高まる 2. やや高まる 3. あまり高まらない
4. 全く高まらない 5. よくわからない

⑥ 口の中で使う機器の消毒や滅菌処理の徹底によって、十分な感染症対策を行っていること。\*○は1つ

- 1. 大いに高まる 2. やや高まる 3. あまり高まらない
4. 全く高まらない 5. よくわからない

⑦ 歯科医療に関する安全対策を実践していることを院内掲示(例、ポスター)などで、患者にわかりやすく伝えること。\*○は1つ

- 1. 大いに高まる 2. やや高まる 3. あまり高まらない
4. 全く高まらない 5. よくわからない

(3) 今後、歯科治療を受ける際には、より「安全・安心」な歯科医療の環境が整っている(歯科外来診療環境体制加算の施設基準を満たしている)施設に行きたいと思いませんか。\*○は1つ

- 1. とてもそう思う 2. そう思う 3. あまりそう思わない
4. 全くそう思わない 5. よくわからない

問5. 歯科医療の安全・安心について、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

Blank box for comments.

以上でアンケートは終わりです。ご協力いただきまして、ありがとうございます。調査専用の返信用封筒(切手は不要です)にアンケートを入れ、お近くのポストに●月●日(●)までに投函してください。

2. 貴薬局の処方せん受付状況(平成21年7月1日~31日の期間)についてお伺いします。

Table for prescription reception status with columns for medical institution type and counts.

3. 貴薬局の取り扱い処方せん枚数についてお伺いします。

Table for handling prescription counts with detailed categories and checkboxes.

4. 後発医薬品への対応状況についてお伺いします。(平成21年4月以降)

(1) 後発医薬品の調剤に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。 ※〇は1つだけ

1. 後発医薬品を積極的に患者に説明して、調剤するように取り組んでいる

2. 薬効によっては後発医薬品を患者に説明して、調剤するように取り組んでいる

3. 後発医薬品の説明・調剤にはあまり積極的には取り組んでいない

4. その他(具体的に)

4-(1)-1 どのような理由によるものでしょうか。  
※あてはまる番号すべてに〇

1. 後発医薬品の品質に疑問があるため

2. 後発医薬品の効果に疑問があるため

3. 後発医薬品の副作用に不安があるため

4. 後発医薬品の安定供給体制が不備であるため

5. 後発医薬品の情報提供が不備であるため

6. 後発医薬品に関する患者への普及啓発が不足するため

7. 近隣の医療機関が後発医薬品の使用に消極的なため

8. 後発医薬品の説明に時間がかかるため

9. 後発医薬品の調剤による薬剤料に不安があるため

10. 後発医薬品の備蓄増に伴う不良在庫の拡大など、在庫管理の負担が大きいため

11. 調剤室での薬の取り揃えの前に後発医薬品を説明する業務手順となっていないため

12. その他(具体的に)

【1~5を選ばれた方】  
4-(1)-1-1 経緯や問題点を具体的に書きください。

4-(1)-2 上記の選択肢1~12のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。

(2) 後発医薬品の品質保証について、どのような方法で行われているのかご存知ですか。 ※〇は1つだけ

1. 十分に理解している

2. ある程度理解している

3. あまり理解していない

4. 全く理解していない

※1 「後発医薬品についての説明」とは、後発医薬品と先発医薬品が同等であること(例えば、品質、安定性、生物学的同等性試験結果など)の説明に加え、患者の処方せんに於ける変更前の薬剤料と変更後の薬剤料の差額等についての説明などを指します。以下の設問についても同じです。

※2 「後発医薬品への変更が可能な処方せん」とは、「後発医薬品が調剤収載されている先発医薬品」を含む処方せんのうち、「後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更がすべて不可」かつ、処方内容の一部に変更不可の指示があるとしても、処方箋が変更不可の指示をしていない「後発医薬品が調剤収載されている先発医薬品」が1品目でもあるものを指します。以下の設問についても同じです。

(3) 後発医薬品への変更が可能な処方せん※2を所持した患者のうち、後発医薬品についての説明※1を行った患者は、平成21年4月以降、現在までにどの程度行いましたか。 ※〇は1つだけ

1. 10%未満

2. 10%以上~30%未満

3. 30%以上~50%未満

4. 50%以上~70%未満

5. 70%以上~90%未満

6. 90%以上

(4) 上記(3)で、後発医薬品についての説明※1を行なった理由としては、次のうちのどれですか。 ※あてはまる番号すべてに〇

1. 持っている患者が多く、説明する時間的余裕がなかったから

2. 患者が急いでおり、説明不要と言われたから

3. 患者が後発医薬品について十分理解していたから

4. 調剤室での薬の取り揃えの前に後発医薬品について説明する業務手順になっていないから

5. システム上、薬剤料の差額がすぐに計算できないので、患者の質問にこの場で答えることができないから

6. 説明しなければならぬという認識が不足していたから

7. その他(具体的に)

(4)-1 上記(4)の選択肢1~7のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。

(5) 後発医薬品への変更が可能な処方せん※2を所持した患者のうち、後発医薬品について簡潔な説明だけを行った患者(後発医薬品に関する説明を記載した文書を患者に手渡し、希望の有無を確認した場合を含む。)は、平成21年4月以降、現在までにどの程度行いましたか。 ※〇は1つだけ

1. 10%未満

2. 10%以上~30%未満

3. 30%以上~50%未満

4. 50%以上~70%未満

5. 70%以上~90%未満

6. 90%以上

(6) 後発医薬品への変更が可能な処方せん※2を所持した患者のうち、後発医薬品への変更をすすめた患者は、平成21年4月以降、現在までにどの程度行いましたか。 ※〇は1つだけ

1. 10%未満

2. 10%以上~30%未満

3. 30%以上~50%未満

4. 50%以上~70%未満

5. 70%以上~90%未満

6. 90%以上

(7) 上記(3)の後発医薬品についての説明※1を行った患者のうち、後発医薬品の使用を希望しなかった患者は、どの程度行いましたか。 ※〇は1つだけ

0. 希望しなかった患者はいなかった(0%)→質問(9)へ

1. 0%未満~10%未満

2. 10%以上~30%未満

3. 30%以上~50%未満

4. 50%以上~70%未満

5. 70%以上~90%未満

6. 90%以上

(8) 上記(7)で、患者が後発医薬品の使用を希望しなかった理由として、最も多いものは、次のうちのどれですか。 ※〇は1つだけ

1. 薬剤料等(患者自己負担額)の差額が小さいから

2. 公費負担の患者であるため、経済的インセンティブがないから

3. 過去に後発医薬品を使用した、体調不良となった経験があるから

4. 後発医薬品に対する不安があるから

5. その他(具体的に)

(9) 後発医薬品への変更を勧めた患者のうち、2回目以降に後発医薬品の使用を希望しなかった患者は、平成21年4月以降、現在までにどの程度行いましたか。 ※〇は1つだけ

0. 希望しなかった患者はいなかった(0%)→質問(11)へ

1. 0%未満~10%未満

2. 10%以上~30%未満

3. 30%以上~50%未満

4. 50%以上~70%未満

5. 70%以上~90%未満

6. 90%以上

(10) 上記(9)で、患者が2回目以降に後発医薬品の使用を希望しなかった理由として、最も多いものは、次のうちのどれですか。 ※〇は1つだけ

1. 使用した後発医薬品の効果に疑問があったため

2. 使用した後発医薬品により体調不良となったため

3. 使用した後発医薬品の使用感が合わなかったため

4. 後発医薬品に対する不安が解消できなかったため

5. その他(具体的に)

(11) ①後発医薬品への変更が可能な処方せんに基づき、先発医薬品から後発医薬品に変更して調剤した場合、後発医薬品についての説明と、一般的な服薬指導の両方を行うのに、患者1人当たりどの程度の時間(後発医薬品説明と一般的な服薬指導の合計時間)がかかりますか。説明を行った患者がいなかった場合は「-」を記入ください。 ※おおよその時間で概算です。具体的に数字をご記入ください。

	【初回の患者の場合】	約( )分
	【2回目以降の患者の場合】	約( )分

②一般的な服薬指導を行う場合、患者1人当たりどの程度の時間がかかりますか。 約( )分

(12) 平成21年4月以前に後発医薬品への変更調剤を行った患者のうち、医療機関が、薬局で変更した当該後発医薬品の総処方方に切り替えた患者数の割合 約( )%

(13) 後発医薬品への変更が可能な処方せんを所持した患者のうち、当該後発医薬品を直ちに取り揃えることができずに後発医薬品に変更できなかった患者は、どの程度行いましたか。 ※〇は1つだけ

1. 10%未満

2. 10%以上~30%未満

3. 30%以上~50%未満

4. 50%以上~70%未満

5. 70%以上~90%未満

6. 90%以上

(14) 後発医薬品の備蓄状況等

	(ア) 全品目	(イ) うち、後発医薬品
①平成20年7月	約( )品目	約( )品目
②平成21年7月	約( )品目	約( )品目

③上記②のうち、複数銘柄の後発医薬品を備えている先発医薬品の備蓄品目数

例) 先発医薬品A 10mg 後発医薬品A 10mg  
後発医薬品B 10mg  
先発医薬品C 20mg 後発医薬品C 20mg  
後発医薬品D 20mg  
→複数銘柄の後発医薬品を備えている先発医薬品が2品目なので、「2品目」と答えず。

④先発医薬品と同一銘柄の後発医薬品が備蓄収載されていない、先発医薬品の備蓄品目数

1) 先発医薬品がOD錠 → ( )品目

2) 上記1)以外 → ( )品目

⑤上記③のようなケースがないようにするために、合計でどの程度の後発医薬品の品目数の備蓄が必要だと思いますか。 約( )品目

(15) 薬局で採用している後発医薬品を選択した理由は何か。 ※あてはまる番号すべてに〇

1. 後発医薬品メーカーによる品質に関する情報開示の程度

2. 他の後発医薬品よりも薬価が安価

3. 近隣の保険医療機関・保険薬局への納入実績の程度

4. 迅速かつ安定的に製造販売業者や卸業者から入手できる

5. 患者の使用感がよい(例:味がよい、臭いが気にならない、貼付感がよい)

6. 調剤がしやすい(例:容易に半割ができる、一包化調剤がしやすい)

7. その他(具体的に)

(16) 処方せん受付時に、患者に対して、「後発医薬品についての説明」及び「薬剤服用歴を踏まえた服薬状況・副作用発現状況等の確認」の両方を行っていますか。 ※〇は1つだけ

1. はい

2. いいえ

↓ (16)-1 説明や確認を行っているのはいつですか。 ※〇は1つだけ

1. 「後発医薬品についての説明」及び「薬剤服用歴を踏まえた服薬状況・副作用発現状況等の確認」のいずれについても、調剤室での薬の取り揃えの後に行っている

2. 「後発医薬品についての説明」は、調剤室での薬の取り揃えの前に行っている

3. 「薬剤服用歴を踏まえた服薬状況・副作用発現状況等の確認」は、調剤室での薬の取り揃えの前に行っている

4. その他(具体的に)

(17) 後発医薬品への変更が可能な処方せんを受け付けたが、変更しなかった場合について、今後、どのような対応が望まば、薬局の立場として後発医薬品への変更を進めてもよいと思いますか。 ※あてはまる番号すべてに〇

1. 医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることを周知徹底

2. 後発医薬品メーカーによる情報提供や安定供給体制の確保

3. 後発医薬品に対する患者の理解

4. 剤形・規格の違いに関わらずに銘柄変更調剤ができる環境の整備

5. 後発医薬品に関する説明の手法や後発医薬品の調剤による薬剤料の減などを考慮した調剤報酬上の一層の評価

6. 調剤室での薬の取り揃えの前に患者に後発医薬品について説明する等、薬局における調剤手順の見直し

7. 特に対応は必要ない

8. その他(具体的に)

(17)-1 上記の選択肢1~8のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。

5. 「ジェネリック医薬品希望カード」の提示など、後発医薬品の使用に関する患者からの意思表示の状況等についてお伺いします。

「ジェネリック医薬品希望カード」とは、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用を希望する旨が記載されており、医師や薬剤師に提示するためのカードのことです。
【例】
ジェネリック医薬品希望カード
医師・薬剤師の皆様へ
ジェネリック医薬品を希望します。
ジェネリック医薬品に関するご質問をお答えします。
全国健康保険協会
【おもて】 【うら】
※ここに示しているのはあくまでも【ジェネリック医薬品希望カードの一例】です。詳細につきましては、健康保険組合などにお問い合わせください。

Table with 5 main questions regarding the 'Generic Drug Hope Card' and its implementation in pharmacies. Each question has multiple-choice options.

6. 後発医薬品の使用にあたっての関連点・課題等について、ご意見・ご要望などがありましたらご記入ください。

Large empty box for providing comments and requests regarding the use of generic drugs.

質問は以上です。ご協力いただきまして、ありがとうございました。
※引き続き、様式2のご記入もよろしくお願ひいたします。

様式2
平成20年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成21年度調査)
後発医薬品の使用状況調査 調査票(案)

■ 平成21年7月21日(火)から27日(月)までの1週間の状況をご記入ください。

○「後発医薬品への変更がすべて不可」欄に地方医の署名等がなく、かつ実際に後発医薬品に変更したすべての処方せん(1品目でも変更した場合は含む)についてご記入ください。

○上記の処方せんについて、1から番号を振り、「処方せん番号(No.)」欄にご記入ください。ただし、必ずしも発行の日付順にする必要はありません。(下記に記載した処方せんの合計枚数が、様式1の3.(1)「④」のうち、1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん(初めての処方に限らず、以前に一度変更し、今回も再度に変更した場合も含む)の項の枚数と同じであることを確認してください。)

○各々の処方せんについては、処方せんに記載された薬名と併りに調剤した場合は薬剤科を(A)欄に、また、実際に(後発医薬品へ変更して)調剤した薬剤科を(B)欄にご記入ください。薬剤科は処方せん1枚ごと、単剤は「点」でご記入ください。

○各々の処方せんについて、その処方せんを所持した患者の一部負担金の割合を(C)欄にご記入ください(例:組合健保の健保被保険者3割の場合「3」とご記入ください)。患者の一部負担金がない場合は「0」とご記入ください。

Main data table for the survey with multiple columns for drug details, pharmacy information, and patient burden.

※回答用紙が足りない場合には、大変恐縮ですが、本用紙をコピーしてお使いください。
記入入数(表3枚のうち)表頭の欄を
回答用紙 3 枚中 1 枚

病院票
平成20年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成21年度調査)
後発医薬品の使用状況調査 調査票(案)

※以下のラベルに、電話番号、ご回答者のお名前をご記入ください。また、施設名、所在地をご確認の上、記載内容に間違いおよび不備がございましたら、お電話にて修正してください。ご記入頂いた電話番号等、お名前等は、本調査の調査に使用するためのものであり、それ以外の目的のために使用することはございません。また、適切に保管・管理致しますので、ご記入の程、よろしくお願ひ申し上げます。

Form for facility name, location, phone number, and respondent name.

※この「病院票」は、医療機関の調剤者・管理者の方に、貴施設における後発医薬品の使用状況やお考えについてお伺いするものです。
※ご回答の際は、おてはまる番号を○(マル)で記入してください。また、( )内には具体的な数値、用語等をご記入ください。( )内に数値を記入する段階で、該当なしは「0(ゼロ)」を、わからない場合は「-」をご記入ください。
※特に断りのない場合は、平成21年7月末現在の状況についてご記入ください。

1. 貴施設の状況(平成21年7月末現在または平成21年7月1か月間)についてお伺いします。

Table for facility status including ownership type, hospital type, DPC status, and staff information.

⑧1 か月間の外来延べ患者数 (平成21年7月1か月間) ( ) 人

⑧1 か月間の外来診察日数 (平成21年7月1か月間) ( ) 日 ※平日診察の場合は「0.5日」として計算して下さい。 ※小児科は下第1位まで

⑨後発医薬品の使用について、外産品量に院内投与する場合は、施設としてどのように対応していますか。 ※最も近い番号に1つだけ○をつけてください。

- 後発医薬品を積極的に使用する
- 後発医薬品をほとんど使用しない
- 個々の医師の判断による
- その他 (具体的に )

※具体的に理由をお書きください。

⑨後発医薬品の使用について、外産品量に院外処方する場合は、施設としてどのように対応していますか。 ※最も近い番号に1つだけ○をつけてください。

- 後発医薬品を積極的に使用する
- 後発医薬品をほとんど使用しない
- 個々の医師の判断による
- その他 (具体的に )

※具体的に理由をお書きください。

\*後発医薬品の銘柄地方のほか、院外処方せんの「後発医薬品への変更不可」欄に署名を行わない場合を含みます。

⑩既製品備蓄品目数 約 ( ) 品目 ※平成21年7月末現在

⑩上記⑩のうち後発医薬品の備蓄品目数 約 ( ) 品目 ※平成21年7月末現在

⑪後発医薬品の供給体制は、1年前と比較して、どう思いますか。 ※あてはまる番号に1つだけ○

- 改善した
- 変化はない
- 悪化した

⑫施設で使用している後発医薬品リストを近隣の薬局や地域の薬剤師会等に提供していますか。 ※あてはまる番号に1つだけ○

- 近隣の薬局や地域の薬剤師会に提供している
- 地域の薬剤師会に提供している
- 近隣の薬局に提供している
- 提供していない
- その他 (具体的に )

⑬施設では、患者が後発医薬品を頼みやすくなるような工夫をされていますか。 ※あてはまる番号すべてに○

- 院内に後発医薬品に関するポスターや案内板等を掲示している
- 受付窓口にて「ジェネリック医薬品希望カード」(p.3参照)を用意している
- 院内に後発医薬品の普及啓発に関するリーフレット等を用意し、患者が入力できるようにしている
- 後発医薬品に関心がある患者のために、専用の相談窓口を設けたり、説明担当の薬剤師を配置している
- 院内で後発医薬品に関するビデオを流している
- 診察時に、患者の意向を容易に確認できるように資料を配布している
- その他 (具体的に )
- 特に工夫していない

「ジェネリック医薬品希望カード」とは (例)

後発医薬品 (ジェネリック医薬品) の使用を希望する旨が記載されており、医師や薬剤師に提示するためのカードのごことです。

※ここに示しているのはあくまでも「ジェネリック医薬品希望カードの一例」です。詳細につきましては、健康保険組合などにお問い合わせください。

ジェネリック医薬品希望カード

ジェネリック医薬品希望カード

【おと】 【うら】

2. 貴施設における院外処方せん発行状況 (平成21年7月1か月間) についてお問い合わせします。

⑭院外処方せんを発行している診療科 ※あてはまる番号すべてに○

1. 内科	2. 外科	3. 整形外科
4. 形成外科	5. 小児科	6. 産婦人科
7. 呼吸器科	8. 消化器科	9. 循環器科
10. 精神科	11. 腫瘍科	12. 耳鼻咽喉科
13. 泌尿器科	14. 皮膚科	15. 放射線科
16. その他 (具体的に )		

⑭外来における院外処方せん発行枚数 ( ) 枚 ※平成21年7月1か月間

⑭上記⑭のうち、後発医薬品を銘柄指定した処方せん又は「後発医薬品への変更不可」欄に署名をなした処方せんの割合 ※あてはまる番号に1つだけ○

1. 10%未満	2. 10%以上 ~ 30%未満
3. 30%以上 ~ 50%未満	4. 50%以上 ~ 70%未満
5. 70%以上 ~ 90%未満	6. 90%以上

3. 入院患者に対する後発医薬品の使用状況等 (平成21年7月末現在または平成21年7月1か月間の状況) についてお問い合わせします。ここでは、違診料などの検査に用いる医薬品を含め、内服薬、注射薬及び外用薬の全てを対象とします。

⑮平均入院患者数 ※小児科以下第1位まで ( ) 人 ※平成21年7月1か月間

⑯入院患者に対する後発医薬品の使用状況は、いかがでしょうか。 ※最も近い番号に1つだけ○をつけてください。

- 後発医薬品があるものは積極的に使用する
- 後発医薬品のあるものの一掃を使用
- 後発医薬品をほとんど使用していない
- その他 (具体的に )

⑯-1上記の理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 処方銘柄について患者からの強い要望
- 処方銘柄に対応する後発医薬品の副作用が心配
- 処方銘柄に対応する後発医薬品の効能に疑問
- 後発医薬品の供給体制に不安
- 処方銘柄の作用が強く治療域がせまい
- 患者に薬した剤形が他がない
- 処方銘柄を長く使用し慣れ
- 病状として使用する医薬品の銘柄を指定している
- 後発医薬品の使用による薬剤料減への不安
- その他 (具体的に )

⑰平成21年4月以降、入院患者に後発医薬品を使用して問題が生じたことはありませんか。 ※1つだけ選択し、「ある」場合は、⑰-1の質問についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- ない
- ある
  - ⑰-1「ある」場合、その内容はどのようなものでしたか。次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。
    - 後発医薬品の品質上の問題
    - 後発医薬品メーカーの情報提供体制上の問題
    - 後発医薬品の供給体制上の問題
    - その他 (具体的に )

⑱今後、どのような対応が進めば、病院として、入院患者への投薬・注射及び外来患者への院内投与における後発医薬品の使用を進めるともよいと思いますか。 ※あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることの周知徹底
- 後発医薬品メーカーによる情報提供や安定供給体制の確保
- 後発医薬品に対する患者の理解
- 後発医薬品を処方する際の診療報酬上の評価
- 後発医薬品の使用割合についての診療報酬上の評価
- 院内で後発医薬品の情報を独自に収集し、後発医薬品の適正採用を行える体制の整備
- 特に対応は必要ない
- その他 (具体的に )

⑲-1 上記⑱の選択肢1-8のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。

4. 後発医薬品の使用にあたっての問題点・課題等について、ご意見・ご要望などがありましたらご記入ください。

「病院票」の質問はこれで終わりです。ご協力いただきまして、ありがとうございました。

平成20年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成21年度調査) 後発医薬品の使用状況調査 調査票(案)

※この医師票は、貴施設において、院外処方せんを発行している外来診療を担当する医師の方に、後発医薬品の使用状況やお考えについてお問い合わせするものです。

※ご回答の際は、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、( ) 内には具体的な数量、用用量をご記入ください。( ) 内に数量を記入する位間で、該当なしは「0(ゼロ)」を、わからない場合は「-」をご記入ください。

※ご回答頂いた調査票は、専用の通信用封筒(切手不要)にて、直接事務局までご返送いただけますよう、お願い申し上げます。 ※特に断りのない場合は、平成21年7月末現在の状況についてご記入ください。

1. あなたご自身についてお問い合わせします。

①性別 1. 男性 2. 女性 ②年齢 ( ) 歳

③主たる担当診療科 ※0は1つだけ

1. 内科	2. 外科	3. 整形外科	4. 形成外科
5. 小児科	6. 産婦人科	7. 呼吸器科	8. 消化器科
9. 循環器科	10. 精神科	11. 腫瘍科	12. 耳鼻咽喉科
13. 泌尿器科	14. 皮膚科	15. 放射線科	
16. その他 (具体的に )			

④(ご自身の) 1日当たり平均外来診療患者数 ( ) 人 職種 ※平成21年7月1か月間

2. 外来診療における院外処方せん発行時の状況や後発医薬品の処方に関するお考えについてお問い合わせします。

①後発医薬品の処方に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。 ※0は1つだけ

- 特にこだわりはない → 質問②へ
- 患者からの要望がなくても後発医薬品を積極的に処方する → 質問②へ
- 患者からの要望があっても後発医薬品は基本的には処方しない → 質問①-1の後、質問②へ
  - \*後発医薬品の銘柄地方のほか、「後発医薬品への変更不可」欄に署名を行わない場合を含みます。

<上記質問①で「3」をご回答された方にお問い合わせします>

①-1「後発医薬品は基本的には処方しない」のはどのような理由によるものでしょうか。 ※あてはまる番号すべてに○。また、15. 後発医薬品の情報提供の不備を選択された場合、必要は理由を( ) に記入してください。

- 後発医薬品の品質への疑問
- 後発医薬品の効果への疑問
- 後発医薬品の副作用への不安
- 後発医薬品の安定供給体制の不備
- 後発医薬品の情報提供の不備
  - ①-1-1のような情報が必要ですか。
    - 例：先発医薬品との同等性に関するデータ、種々の副作用の症例報告
- 後発医薬品に関する患者への普及啓発不足
- その他 (具体的に )

→ 質問②へお返しくください

①1年割と比較して、後発医薬品の処方（後発医薬品への変更不可としない処方せんも含みます）は、変化しましたか。 ※〇は1つだけ

1. 多くなった      2. 変わらない      3. 少なくなった

①平成21年4月以降、「後発医薬品への変更不可」欄に署名した処方せんを発行したことはありますか。 ※〇は1つだけ

1. ある      2. ない → 質問④へ

①-1 除外処方せん枚数全体に占める、「変更不可」欄に署名した（すべての医薬品について後発医薬品への変更不可とした）処方せん枚数の割合は、どの程度ありますか。 ※〇は1つだけ

0. 「変更不可」欄に署名した処方せんはなかった（0%） → 質問④へ

1. 0%超 ~ 10%未満      2. 10%以上 ~ 30%未満      3. 30%以上 ~ 50%未満

4. 50%以上 ~ 70%未満      5. 70%以上 ~ 90%未満      6. 90%以上

①-2 「後発医薬品への変更不可」欄に署名したのは、どのような理由からですか。 ※あてはまる番号すべてに〇

1. 患者からの強い要望があったから      2. 後発医薬品の品質が不安だから

3. 後発医薬品メーカーの供給体制が不安だから      4. 後発医薬品の情報提供体制が不安だから

5. 後発医薬品の剤形が患者に通じていないから      6. 薬局での後発医薬品の備蓄が不安だから

7. 後発医薬品の効果や副作用の違いを疑ったから

8. 作用が強く治療のせまい薬剤だから

9. 先発医薬品を長く使用し信頼しているから

10. 病院として使用する医薬品の銘柄を指定されているから

11. 薬局で実際に調剤された後発医薬品名を診療録に記載するのが面倒だから

12. 薬局でどのような薬剤に調剤されるか心配だから

13. 薬剤料が安くないから

14. 特に理由はない（処方方針として）

15. その他（具体的に）

..... 質問④へお読みください

②平成21年4月以降、一部の医薬品についてのみ後発医薬品への「変更不可」と記載した処方せんを発行したことはありますか。 ※〇は1つだけ

1. ある      2. ない → 質問⑤へ

②-1 一部の医薬品について後発医薬品への「変更不可」とするのは、どのようなケースが最も多いですか。 お考えに最も近いものの番号に〇をつけてください。 ※〇は1つだけ

1. 先発医薬品から後発医薬品への変更不可とすることが多い

2. 後発医薬品について銘柄の後発医薬品への変更不可とすることが多い

3. 先発医薬品・後発医薬品の区別なく変更不可とすることが多い

4. その他（具体的に）

②-2 除外処方せん枚数全体に占める、一部の医薬品について「変更不可」と記載した処方せん枚数の割合は、どの程度ありますか。 ※〇は1つだけ

1. 10%未満      2. 10%以上 ~ 30%未満      3. 30%以上 ~ 50%未満

4. 50%以上 ~ 70%未満      5. 70%以上 ~ 90%未満      6. 90%以上

③-1 一部の医薬品について「変更不可」とする理由は何ですか。最も多いもの1つに〇をつけてください。 ※〇は1つだけ

1. 処方銘柄について患者からの強い要望があるから

2. 処方銘柄に対応する後発医薬品の副作用が心配であるから

3. 処方銘柄に対応する後発医薬品の効能に疑問があるから

4. 後発医薬品の供給体制に不安があるから

5. 処方銘柄の作用が強く、治療のせまい医薬品であるから

6. 患者に適した剤形が他にないから

7. 処方銘柄を長く使用し信頼しているから

8. 病院として使用する医薬品の銘柄を指定されているから

9. その他（具体的に）

..... 質問⑤へお読みください

④平成21年4月以降、後発医薬品について関心がある（質問する、使用を希望する）患者は、外来患者のうち、どの程度いらっしゃいますか。 ※〇は1つだけ

1. 10%未満      2. 10%以上 ~ 30%未満      3. 30%以上 ~ 50%未満

4. 50%以上 ~ 70%未満      5. 70%以上 ~ 90%未満      6. 90%以上

⑤上記④の後発医薬品について関心がある（質問する、使用を希望する）患者数は、1年割と比較して、どうですか。 ※〇は1つだけ

1. 非常に増えた      2. 増えた      3. 変わらない

4. 減った      5. 非常に減った

⑥除外処方せん枚数全体に占める、後発医薬品を銘柄指定した除外処方せん枚数の割合は、どの程度ありますか。（平成21年7月1か月間）

( ) %程度

⑦保険薬局で後発医薬品に変更した場合に、変更された銘柄等についての情報提供はありますか。 ※〇は1つだけ

1. ある      2. だいたいある      3. まったくない

⑧保険薬局で後発医薬品へ変更した場合に、どのような情報提供がほしいと思えますか。考え方の最も近いものを1つだけ選んでください。 ※〇は1つだけ

1. 変更調剤が行われた都度、保険薬局からすぐに情報が提供されればよい

2. 次の診療時に、患者を通じて情報が提供されればよい

3. 一定期間分をまとめて、保険薬局から情報が提供されればよい

4. 新たに調剤を変更した時だけ、保険薬局から情報提供がされればよい

5. 調剤内容についての情報は必要ではない

6. その他（具体的に）

3. 「ジェネリック医薬品希望カード」の提示など、後発医薬品の使用に関する患者からの意思表示の状況等についてお伺いします。

「ジェネリック医薬品希望カード」とは  
後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用を希望する旨が記載されており、医師や薬剤師に提示するためのカードのことです。

【例】

ジェネリック医薬品希望カード  
医師・薬剤師の皆様へ  
ジェネリック医薬品を希望します。

ジェネリック医薬品に関するご説明をお願いします。

●ジェネリック医薬品は、これまで効き目や安全性が実証されてきたものが多く、同等の効果が期待できます。

●ジェネリック医薬品を希望される方は、かかりつけの医師や薬剤師の診察時に「お読みください」の欄にこのカードをお読みください。

全国健康保険協会  
国保連合会

【おもて】      【うら】

※ここに示しているのはあくまでも「ジェネリック医薬品希望カード」の一例です。詳細につきましては、健保保連合会などにお問い合わせください。

①「ジェネリック医薬品希望カード」を知っていますか。 ※〇は1つだけ

1. 知っている      2. 知らない → 5ページの4.へ

②「ジェネリック医薬品希望カード」を患者から提示されたことがありますか。 ※〇は1つだけ

1. 提示されたことがある      2. 提示されたことはない → 5ページの4.へ

③「ジェネリック医薬品希望カード」を提示された患者に対して後発医薬品の処方又は「後発医薬品への変更不可」欄に署名するのはいくら処方せんを発行した割合をご記入ください。

( ) %

④保険薬局に「ジェネリック医薬品希望カード」が配布されるようになった平成21年4月以降、後発医薬品を希望する患者は増えましたか。 ※〇は1つだけ

1. 増えた      2. 変わらない

4. 後発医薬品の使用についてお伺いします。

①後発医薬品について、慎重性に基づく厚生労働大臣の承認を得るためには、どのようなデータ（例えば、人での血中濃度を測定する臨床試験データなど）が必要か、ご存知ですか。 ※〇は1つだけ

1. だいたい知っている      2. 少しは知っている      3. ほとんど知らない

②今後、どのような対応がなされれば、医師の立場として後発医薬品の処方を進めても良いと思えますか。 ※あてはまる番号すべてに〇

1. 医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることの周知徹底

2. 後発医薬品メーカーによる情報提供や安定供給体制の確保

3. 後発医薬品に対する患者の理解

4. 後発医薬品を処方する際の診療報酬上の評価

5. 院内で後発医薬品の情報を独自に収集し、後発医薬品の選定・採用を行える体制の整備

6. 特に対応は必要ない

7. その他（具体的に）

③-1 上記4. ②の選択肢1~7のうち、最もあてはまるものの番号をお書きください。

5. 後発医薬品の使用にあたっての問題点・課題等について、ご意見・ご要望などがありましたらご記入ください。

平成20年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成21年度調査)
後発医薬品の使用状況調査 調査票(案)

※この「診療所」は医療機関の開設者・管理者の方に、貴施設における後発医薬品の使用状況をお考えについてお伺いするものです。
※ご回答の際は、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、( )内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
( )内に数値を記入する段階で、該当なしは「0(ゼロ)」を、わからない場合は「-」をご記入ください。
※特に断りのない場合は、平成21年7月末現在の状況についてご記入ください。

ご回答者についてご記入ください。

Table with 4 columns: ①性別, ②年齢, ③科, ④職. Includes options for gender, age, department, and position.

1. 貴施設の状況(平成21年7月末現在)についてお伺いします。

Form for facility information including: ①医療機関名, ②所在地, ③開設者, ④種別, ⑤主たる診療科, ⑥オーダリングシステム, ⑦院内処方と院外処方の割合, ⑧医師数, ⑨薬剤師数, ⑩医薬品の備蓄状況, ⑪後発医薬品の供給体制.

⑨-1 上記2、⑩の選択1-8のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。

3. 貴施設における院外処方せん発行状況等(平成21年7月1か月間)についてお伺いします。

⑩貴施設では、平成21年4月以降、院外処方せんを発行していますか。 1. 発行している 2. 発行していない

⑪外来診療の状況についてお伺いします。 1) 1か月間の外来診療日数(平成21年7月1か月間) 2) 1か月間の外来症へ患者数(平成21年7月1か月間)

4. 外来診療における処方せん発行時の状況や後発医薬品の処方に関するお考えをお伺いします。<院外処方せんを発行している施設の方にお伺いします>

⑫後発医薬品の処方に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。 1. 特にこだわりはない 2. 患者からの要望がなくても後発医薬品を積極的に処方する 3. 患者からの要望があっても後発医薬品は基本的には処方しない

⑭貴施設で使用している後発医薬品リストを近隣の薬局や地域の薬剤師会等に提供していますか。 1. 近隣の薬局や地域の薬剤師会に提供している 2. 地域の薬剤師会に提供している 3. 近隣の薬局に提供している 4. 提供していない 5. その他(具体的に)

2. 入院患者に対する後発医薬品の使用状況等(平成21年7月末現在または平成21年7月1か月間の状況)についてお伺いします。ここでは、「選択形」などの検査に用いる医薬品を含め、内服薬、注射薬及び外用薬の全てを対象とします。(臨床診療科の別、3へお進みください。)

⑮平均入院患者数 ⑯入院患者に対する後発医薬品の使用状況 ⑰平成21年4月以降、入院患者に後発医薬品を使用して問題が生じたことはありますか。 ⑱今後、どのような対応が進めば、診療所として、入院患者への投与・注射及び外来患者への院内投与における後発医薬品の使用を進めるとよいと思いますか。

⑳平成21年4月以降、「後発医薬品への変更不可」欄に署名した処方せんを発行したことはありますか。 1. ある 2. ない ㉑-1 院外処方せん枚数全体に占める、「変更不可」欄に署名した(すべての医薬品について後発医薬品への変更不可とした)処方せん枚数の割合は、どの程度ありますか。 ㉒「後発医薬品への変更不可」欄に署名したのは、どのような理由からですか。



④同一品の医薬品について「変更不可」とする理由は何ですか。最も多いもの1つに○をつけてください。※○は1つだけ

1. 処方銘柄について患者からの強い要望があるから
2. 処方銘柄に対する後発医薬品の副作用が心配であるから
3. 処方銘柄に対応する後発医薬品の効能に疑問があるから
4. 後発医薬品の供給体制に不安があるから
5. 処方銘柄の作用が強く治療のせまい医薬品であるから
6. 患者に適した剤形が他にないから
7. 処方銘柄を長く使用し慣れているから
8. 診療所として使用する医薬品の銘柄を指定しているから
9. その他（具体的に）

→ 質問⑤へお進みください

⑤平成21年4月以降、後発医薬品について関心がある（質問する、使用を希望する）患者は、外来患者のうち、どの程度いらっしゃいますか。 ※○は1つだけ

1. 10%未満	2. 10%以上 ~ 30%未満	3. 30%以上 ~ 50%未満
4. 50%以上 ~ 70%未満	5. 70%以上 ~ 90%未満	6. 90%以上

⑥上記⑤の後発医薬品について関心がある（質問する、使用を希望する）患者数は、1年前と比較して、どうですか。 ※○は1つだけ

1. 非常に増えた	2. 増えた	3. 変わらない
4. 減った	5. 非常に減った	

⑦処方用方せん枚数全体に占める、後発医薬品を銘柄指定した院外処方せん枚数の割合は、どの程度ありますか。（平成21年7月1か月間）

( ) %程度

⑧保険薬局で後発医薬品に変更した場合に、変更された銘柄等についての情報提供はありますか。 ※○は1つだけ

1. ある	2. だいたいある	3. まったくない
-------	-----------	-----------

⑨保険薬局で後発医薬品へ変更した場合に、どのような情報提供が重要だと思いますか。お考えに最も近いものの番号に○をつけてください。 ※○は1つだけ

1. 変更調剤が行われた都度、保険薬局からすぐに情報が提供されればよい
2. 次の診療時に、患者を通じて情報が提供されればよい
3. 一定期間分をまとめて、保険薬局から情報が提供されればよい
4. 新たに調剤を変更した時だけ、保険薬局から情報提供がされればよい
5. 調剤内容についての情報は必要ではない
6. その他（具体的に）

→ 7ページの「6. 「ジェネリック医薬品希望カード」の提示など、後発医薬品の使用に関する患者からの意思表示の状況等についてお問い合わせ」へお進みください。

5. 外来診療時における院内投薬の状況や後発医薬品の使用に関するお考えについてお問い合わせ。<院外処方せんを発行していない施設の方にお問い合わせ>

①後発医薬品の処方に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。 ※○は1つだけ

1. 特にこだわりはない	→ 6. 質問①へ
2. 患者からの要望がなくても後発医薬品を積極的に処方する	→ 6. 質問①へ
3. 患者からの要望があっても後発医薬品は基本的には処方しない	→ 質問①へ

<上記質問①で「3」を選ばれた方にお進みます>

①「後発医薬品は基本的には処方しない」のはどのような理由によるものでしょうか。 ※あてはまる番号すべてに○。また、「5. 後発医薬品の情報提供の不備」を選択された場合、必要な情報（ ）に記入してください。

1. 後発医薬品の品質への疑問	2. 後発医薬品の効果への疑問
3. 後発医薬品の副作用への不安	4. 後発医薬品の安定供給体制の不備
5. 後発医薬品の情報提供の不備	

①-1 どのような情報が必要ですか。  
例：先発医薬品との同等性に関するデータ、種々の副作用の症例報告

6. 後発医薬品に関する患者への普及啓発不足

7. 後発医薬品の使用による薬剤料減への不安

8. その他（具体的に）

→ 6. 質問①へ

6. 「ジェネリック医薬品希望カード」の提示など、後発医薬品の使用に関する患者からの意思表示の状況等についてお問い合わせ。<全施設の方にお進みます>

「ジェネリック医薬品希望カード」とは  
後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用を希望する旨が記載されており、医師や薬剤師に提示するためのカードのことです。

【例】

ジェネリック医薬品希望カード  
【医師・薬剤師の窓口へ】  
ジェネリック医薬品を希望します。

※ここに示しているのはあくまでも「ジェネリック医薬品希望カード」の一例です。詳細につきましては、健康保険組合などにお問い合わせください。

①「ジェネリック医薬品希望カード」を知っていますか。 ※○は1つだけ

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

②「ジェネリック医薬品希望カード」を患者から提示されたことがありますか。 ※○は1つだけ

1. 提示されたことがある	2. 提示されたことはない
---------------	---------------

③「ジェネリック医薬品希望カード」を提示された患者に対して後発医薬品の処方又は「後発医薬品への変更不可」欄に署名のない処方せんを発行した割合をご記入ください。

( ) %

④ 保険薬局に「ジェネリック医薬品希望カード」が配布されるようになった平成21年4月以降、後発医薬品を希望する患者は増えましたか。 ※○は1つだけ

1. 増えた	2. 変わらない
--------	----------

⑤ 貴施設では、患者が後発医薬品を飲みやすくなるような工夫をされていますか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. 院内に後発医薬品に関するポスターや案内板等を掲示している
2. 受付窓口で「ジェネリック医薬品希望カード」を用意している
3. 院内に後発医薬品の普及啓発に関するリーフレット等を用意し、患者が入手できるようにしている
4. 後発医薬品に関心がある患者のために、専用の相談窓口を設けたり、説明担当の薬剤師を配置している
5. 院内で後発医薬品に関するビデオを流している
6. 診療時に、患者の意向を容易に確認できるように資料を配布している
7. その他（具体的に）
8. 特に工夫していない

7. 後発医薬品の使用についてお問い合わせ。<全施設の方にお進みます>

①後発医薬品について、薬事法に基づく厚生労働大臣の承認を得るためには、どのようなデータ（例えば、人での血中濃度を測定する臨床試験データなど）が必要か、ご存知ですか。 ※○は1つだけ

1. だいたい知っている	2. 少しは知っている	3. ほとんど知らない
--------------	-------------	-------------

②中核、どのような対応がなされれば、医師の立場として後発医薬品の処方を進めても良いと思いますか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. 医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることの周知徹底
2. 後発医薬品メーカーによる情報提供や安定供給体制の確保
3. 後発医薬品に対する患者の理解
4. 後発医薬品を処方する際の診療報酬上の評価
5. 院内で後発医薬品の情報を独自に収集し、後発医薬品の選定・採用を行える体制の整備
6. 特に対応は必要ない
7. その他（具体的に）

②-1 上記7. ②の選択肢1~7のうち、最もあてはまる番号を1つだけ、お書きください。

8. 後発医薬品の使用にあたっての問題点・課題等について、ご意見・ご要望などがありましたらご記入ください。

（ここに意見・要望などの記入欄が設けられています）

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

平成20年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成21年度調査)
後発医薬品の使用状況調査 調査票(案)

※この「患者票」は、患者の方に、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用状況やお考えについてお聞きするものです。
※ご回答の際は、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、( ) には具体的な数値、用語等をご記入ください。

後発医薬品(ジェネリック医薬品)とは
先発医薬品(新薬)の特許が切れた後に販売される医薬品で、先発医薬品と同等であること(例えば、品質、安定性、服用後の血中濃度の推移など)を厚生労働省が認めたものですが、価格は安くなっています。

1. あなたご自身についてお聞きいたします。

① 性別 ② 年齢 ( ) 歳
③ 診療を受けた診療科
④ 薬局への来局頻度
⑤ かかりつけの薬局がありますか。
⑥ お手持ちの健康保険証の種類

2. ジェネリック医薬品に関するお考えについてお聞きいたします。

① ジェネリック医薬品を知っていますか。
1. 知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない→質問⑥へ

② 医師や薬剤師からジェネリック医薬品についての説明を受けたことがありますか。
1. 医師と薬剤師の両方からジェネリック医薬品について説明を受けたことがある
2. 主に医師からジェネリック医薬品について説明を受けたことがある
3. 主に薬剤師からジェネリック医薬品について説明を受けたことがある
4. 医師や薬剤師からジェネリック医薬品について説明を受けたことがない

③ 平成21年4月以降に医師や薬剤師に「ジェネリック医薬品の処方や調剤」をお願いしたことがありますか。
1. お願いしたことがある 2. お願いしたことはない

④ 医師や薬剤師に「ジェネリック医薬品の処方や調剤」は頼みやすかったですか。
1. 頼みやすかった 2. 頼みにくかった 3. 頼む気はなかった

⑤ どうすれば、より、「ジェネリック医薬品の処方や調剤」を頼みやすくなると思いますか。
※以下1-9のうち、あてはまる番号すべてに○

医療機関における対応
1. 診察時に、医師がジェネリック医薬品について説明をしてくれたり、使用に関する意向をたずねてくれること
2. 医療機関内に、ジェネリック医薬品を希望する患者は医師に相談してほしい旨のポスター等を掲示したり、使用の意思表示ができるカード等を用意していること
3. 医療機関内に、ジェネリック医薬品に関する専用の相談窓口があったり、説明担当の薬剤師がいること
4. その他(具体的に)

薬局における対応
5. 処方せん受付時に、薬剤師がジェネリック医薬品の使用に関する意向をたずねてくれること
6. 薬局内に、ジェネリック医薬品を希望する患者は薬剤師に相談してほしい旨のポスター等を掲示したり、使用の意思表示ができるカード等を用意していること
7. 薬局内に、ジェネリック医薬品に関する専用の相談窓口があったり、説明担当の薬剤師がいること
8. その他(具体的に)

その他
9. 頼みたいとは思わない

「ジェネリック医薬品希望カード」とは
ジェネリック医薬品の使用を希望することが記載されており、医師や薬剤師に提示するためのカードのことです。

【例】

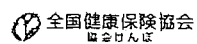
ジェネリック医薬品希望カード

医師・薬剤師の言葉へ

ジェネリック医薬品を希望します。

ジェネリック医薬品に対するご説明をお願いします。

ジェネリック医薬品とは、これまで効き目や安全性が実証されきたお薬と同等と認められたお薬なお薬です。
ジェネリック医薬品を希望される方は、かかりつけの薬局や受診の医療機関にご相談ください。その際、このカードを提示してください。



【おもて】

【うら】

ここに示しているのはあくまでも【ジェネリック医薬品希望カードの一例】です。詳細につきましては、加入している健康保険組合などにお問い合わせください。

【すべての方にお聞きいたします】

⑥ 「ジェネリック医薬品希望カード」を知っていますか。
1. 知っている 2. 知らない→質問⑥へ

⑦ 「ジェネリック医薬品希望カード」をお持ちですか。
1. 持っている 2. 持っていない→質問⑥へ

⑦-1 お持ちの「ジェネリック医薬品希望カード」はどこからもらいましたか。
1. 国民健康保険(国保) 2. 健康保険組合(健保組合)
3. 全国健康保険協会(協会けんぽ) 4. 共済組合(共済)
5. 後期高齢者医療広域連合(広域連合) 6. 医療機関(病院・診療所)
7. 薬局 8. その他( )
9. わからない・忘れた

⑦-2 「ジェネリック医薬品希望カード」をお持ちになってから、ジェネリック医薬品について医師や薬剤師に質問したり、ジェネリック医薬品の使用をお願いしたりしやすくなりましたか。
1. 質問・お願いがしやすくなった 2. それほど変わらなかった
3. わからない

⑧ 「ジェネリック医薬品希望カード」を利用したことがありますか。
1. 利用したことがある 2. 利用したことはない

⑨ 「ジェネリック医薬品希望カード」を今後利用したいと思いますか。
1. 利用したい 2. 利用したくない
→質問⑥へお進みください。

【質問⑥で「2.知らない」、質問⑦で「2.持っていない」とお答えいただいた方のみご回答ください。
⑩ 「ジェネリック医薬品希望カード」が手元があれば、それを利用したいと思いますか。
1. 利用したい 2. 利用したくない

【すべての方にお聞きいたします】

⑪ ジェネリック医薬品を使用したことがありますか。
1. ある 2. ない→質問⑥へ

<上記⑪でジェネリック医薬品を使用したことが「1. あり」と回答された方にお聞きいたします。>

⑪-1 ジェネリック医薬品の効果(効き目)に満足していますか。
1. 満足している 2. どちらかという満足している
3. どちらかという不満である 4. 不満である
→⑪-1 不満に感じられた点を具体的にお書きください。

⑪-2 窓口での薬代の負担感をお聞かせください。
1. 安くなった 2. それほど変わらなかった 3. わからない

【すべての方にお聞きいたします】

⑫ ジェネリック医薬品の使用に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。
1. できればジェネリック医薬品を使いたい
2. できれば先発医薬品を使いたい
3. ジェネリック医薬品や先発医薬品にはこだわらない
4. わからない

⑩ あなたがジェネリック医薬品を使用するにあたって必要なことは何ですか。

※あてはまる番号すべてに○

1. 効果（効き目）があること
2. 使用感がよいこと
3. 副作用の不安が少ないこと
4. 窓口で支払う薬代が安くなること→質問⑨-1へ。
5. 医師のすすめがあること
6. 薬剤師のすすめがあること
7. ジェネリック医薬品についての不安を相談できるところがあること
8. ジェネリック医薬品についての正確な情報が容易に入手できること
9. 国民皆保険（医療保険制度）を守るため、少しでも保険料を節約するという意識を持つこと
10. その他（具体的に )
11. とくにない

⑪-1 1回にあなたが支払う金額がいくらくらい安くなるのであれば、ジェネリック医薬品を使用したいと思いませんか。 ※○は1つだけ

- |                       |              |
|-----------------------|--------------|
| 1. 少しでも安くなるのであれば使用したい | 2. 300円くらい   |
| 3. 500円くらい            | 4. 1,000円くらい |
| 5. 1,000円以上           |              |

3. ジェネリック医薬品を使用する上でのご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。